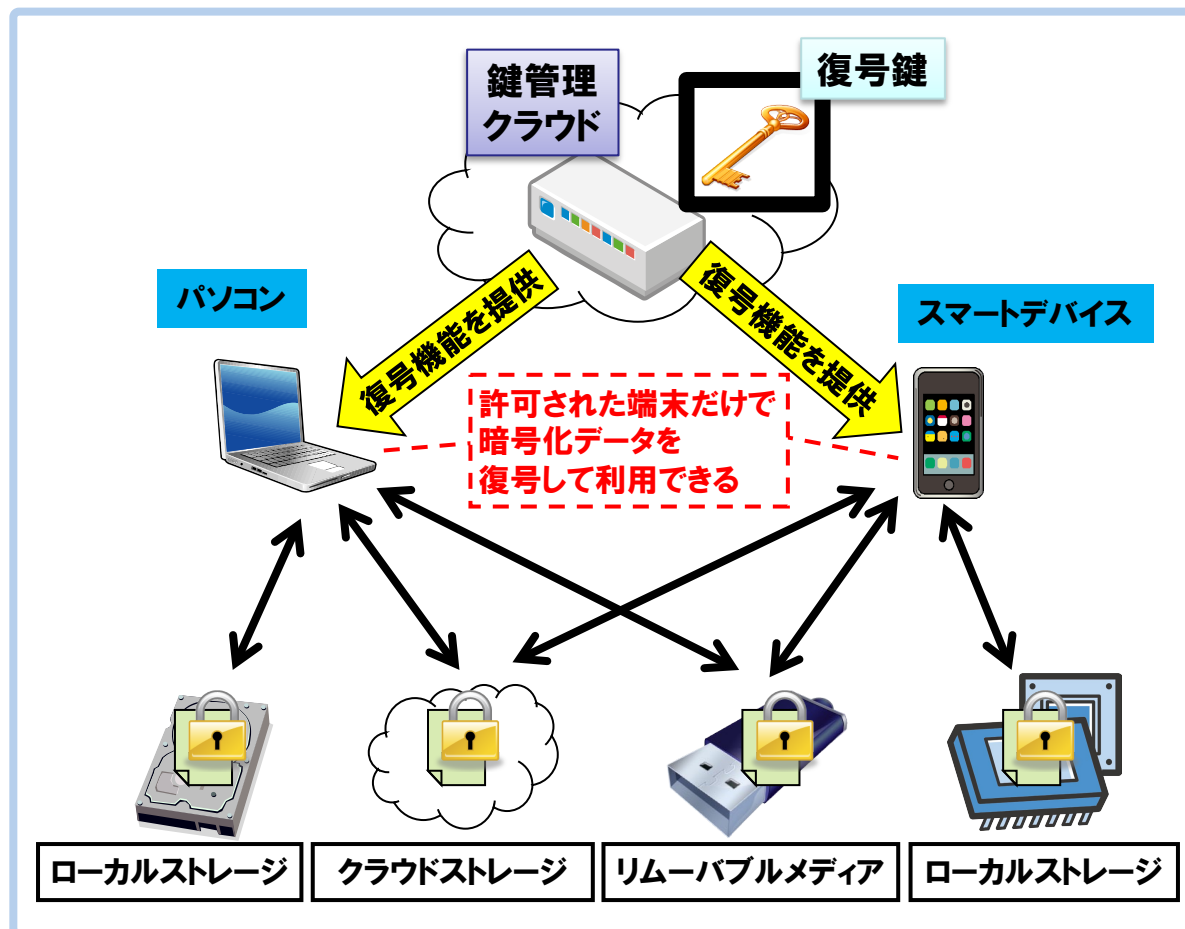


データをどこに置いても許可された人だけが利用できる

Store Data Anywhere and Only Those Eligible Can Use It

パソコンやスマートデバイスといったさまざまな端末ごとに、データの置き場所によらずに開示制御できる技術です。データを暗号化して保護し、許可された端末だけで復号できます。復号鍵を鍵管理クラウド内部に保持して、復号機能のみを端末に提供するので、端末を紛失した場合でも後からデータの利用の停止が可能です。



特 徴

- 既存の暗号技術でデータを保護しつつ、鍵管理を工夫することで、データを保管場所によらず開示制御できます。
- 鍵とデータをそれぞれ鍵管理クラウドと端末の内部にとどまりますが、端末が鍵管理クラウドから復号機能の提供を受けて、正しく復号できます。
- 端末にはパソコンもスマートデバイスも使用できます。
- データを利用できるのは許可された端末だけで、許可を後から取り消すこともできます。

利用シーン

- 持ち出し端末、リムーバブルメディアなどで利用できる情報漏洩防止ソリューション
- 業務で利用できるパブリッククラウドストレージ

グローバルアピールポイント

多様化するスマートデバイスやクラウドサービスで機密情報を安全に扱えるようにする、グローバルなクラウド市場の拡大を狙った技術です。